



# 喜多登

## 丁酉年

今年の干支は「酉」です。この酉年は、昨年の申年、来年の戌年と、仲の悪い事の代表とされる犬猿の間にある干支です。そこからこの酉年は、争いごとの間を取り持ち、和らげる年ともいわれます。

また酉の字は今では鶏を当てていますが、本来は果物が熟しきった状態を表す漢字であり、この酉の字に水気のさんずいへんを付けると「酒」の字となります。お酒もまた心安く打ち解け合う事を助けるものですので、古代の人は酉年には、心穏やかに和らぎあう年であるようにという願いを込めていたのかもしれない。

しかし、和んでばかりでは世の中前には進みませんので、酉年の語呂にあやかっつて、今年は新しい事に取り組んでいく、取り込んでいく、そうしたチャレンジの年とされますよう、この年も皆様のご健康ご多幸を心よりご祈念申し上げます。

## 天神さまとニワトリ

前述の通り今年の干支は「酉」ですが、実は天神さまこと菅原道真公はニワトリが嫌いという逸話が伝わっています。

道真公が無実の罪で京都から大宰府への左遷の際、大阪の道明寺におられる伯母さまをお訪ねになられました。その時、鶏が夜も明けきらぬうちから鳴き出した為、別れを惜しむ間もなく出発する事になり、道真公は大層残念に思われたといわれています。

そして、後に天神さまとなられた道真公が鶏の声を聞いてお怒りにならないようにと、天神さまをお祀りする神社では境内で鶏は飼わないという慣わしが生まれました。またそうした慣わしの影響から、天神社では酉年には鶏ではなく、鳳凰やウグイス等の図柄を干支として用いる神社もあります。(当宮の御本社では嵯峨天皇さまもお祀りしている為、ニワトリの図柄も用いております)

こうしたご本人は何も仰せにはなられずとも、その意を汲んでそつと対応する、そんな気遣い、心遣いが日本人らしさであり、国際化の時代にあっても大切にしたい優しさに思えます。

## 御旅社 玉垣奉納のお知らせ

一昨年から進めております、茶屋町の網敷天神社御旅社の玉垣奉納事業ですが、既存の玉垣の撤去、新しい玉垣の据え付けに際し、難工事の箇所が複数見つかり、その対応等々で事業開始が遅れております。しかしながら既存玉垣の老朽化が深刻な状態である事から、今年中の事業開始を目指し、鋭意準備を進めております。今後、具体的に事業計画が決まりますれば当宮サイトや社頭において告知してまいります予定です。その節には、梅田に名を残す貴重な機会、どうぞ皆様のご賛助をお願い申し上げます。

## 厄年の御祈禱

当社では厄年の厄除け祈禱を受け付けております。左表にもあります通り、それぞれ厄年がございますが、特に数え年の男性四十二才(昭和五十一年生)、女性三十三才(昭和六十年生)の本厄の方と、その前後一年の年にあたられる方は、大きな厄年となります。

厄除け祈禱はそういった年回りに、災厄が訪れないようにと祈る御祈禱で、一月と二月の時期にお受けになれるのが吉とされています。

当社での御祈禱はご予約制ですので、事前にお電話等ご予約下さい。(初穂料五千元)

- 御本社(神山町) 〇六二六三六一二八八七
- 御旅社(茶屋町) 〇六二六三七一一五八六

男 性		
前厄	本厄	後厄
平成 6年生(庚) 24歳(小厄)	平成 5年生(酉) 25歳(中厄)	平成 4年生(申) 26歳(小厄)
昭和 52年生(巳) 41歳(中厄)	昭和 51年生(辰) 42歳(大厄)	昭和 50年生(卯) 43歳(中厄)
昭和 33年生(庚) 60歳(小厄)	昭和 32年生(酉) 61歳(中厄)	昭和 31年生(申) 62歳(小厄)
女 性		
前厄	本厄	後厄
平成 12年生(庚) 19歳(小厄)	平成 11年生(卯) 19歳(小厄)	平成 10年生(寅) 20歳(小厄)
昭和 61年生(寅) 32歳(中厄)	昭和 60年生(丑) 33歳(中厄)	昭和 59年生(子) 34歳(中厄)
昭和 57年生(戌) 36歳(小厄)	昭和 56年生(酉) 37歳(中厄)	昭和 55年生(申) 38歳(小厄)
昭和 33年生(庚) 60歳(小厄)	昭和 32年生(酉) 61歳(中厄)	昭和 31年生(申) 62歳(小厄)

※厄年の年齢は数え年です。  
※案 大厄、黄色 中厄、白 小厄

## 神社携帯サイトのQRコード



ドコモ、ソフトバンク、  
au、モバイルPC 対応

編者 網敷天神社 禰宜(神主)  
白江 秀 知

